

イルカ通信

毎月1回発行

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA)

2002年8月1日 No.001

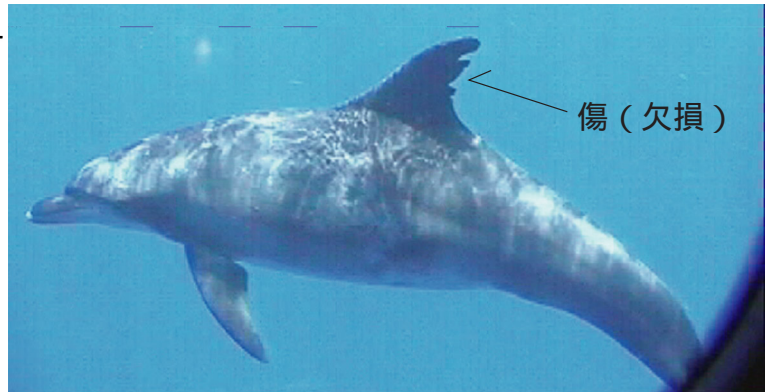
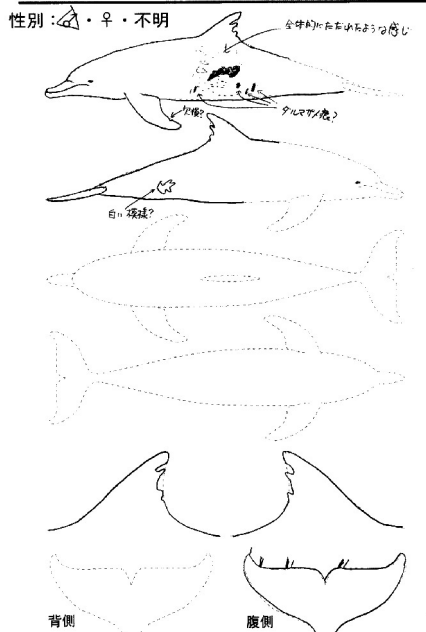


WANTED

こんなイルカを見たことはありませんか？

ID#: OWATA-008 ニックネーム:

性別: ♂・♀・不明



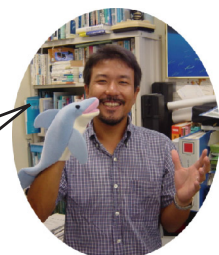
撮影年月日: 2002年5月23日 群番: 03 仮個体No. 03
成長段階: Infant・Juvenile・Subadult・Adult・Unknown
撮影: 横写:
備考:

同じように見えるイルカたちも、よく見てみると顔つきや体についた傷跡が1頭1頭違ってきます。上の写真のイルカは、今年の5月23日に南島の周辺にいた8頭のミナミハンドウイルカのうちの1頭です。このイルカは、背びれの部分にたくさんの傷(欠損)があり、右の側面には白い模様も見られ、他のイルカと比べるとかなり特徴的です。みなさんが見たイルカの中にも、こうした特徴を持ったイルカがいませんでしたか？

小笠原ホエールウォッチング協会では、こうした傷跡や体の模様を基に1頭1頭のイルカを個体識別し、個体識別台帳を作成しながら、この海域に生息するミナミハンドウイルカの出現の季節性や家系、生息数を調べるための調査をおこなっています。

島のガイドさんたちとも協力して、いろいろなイルカ情報をこのイルカ通信を使って発信していきたいと思っております。どうぞよろしく。

「こんなイルカがいたよ」、「イルカがこんなことしていたよ」など、みなさんからのイルカ情報もお待ちしています。



OWA主任研究員
森 恭一